



平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果から

4月に全国の6年生を対象に実施された調査結果のまとめが、札幌市教育委員会より公表されました。本校でも個人の結果については、すでに児童を通じて各家庭にお知らせしております。このお便りでは、今年度の6年生全体の集約結果を全家庭にお知らせします。今回の結果から導き出された成果や課題を、学校全体の共通した傾向として捉え、今後の教育活動の指針としてまいります。なお、本調査により把握できるのは、学力全般の一部分であり、学校の教育活動の一側面であることをご理解ください。※この文書は、本校ホームページにも掲載します。<http://www.midori-e.sapporo-c.ed.jp/>

【国語】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域については、**全国平均を上回っている。**
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域については、**全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。**

主として「活用」に関する問題(B)

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域については、**全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。**
- 「読むこと」の領域については、**全国平均とほぼ同程度。**

- 互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合うことに課題がある。



- 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えることに課題がある。



- 司会の役割や質問の意図を捉える等、発言の意図を理解することの大切さに気付き、互いの考えを広げたりまとめたりできるような話し合い活動を充実させていきます。
- 全体の構成を把握しながら読み、登場人物の行動を取り上げたり、比べたり、自分の経験と関連付けたりしながら自分の考えをまとめる活動を充実させていきます。

【理科】

- 「エネルギー」に関する領域については、**全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。**
- 「物質」「生命」「地球」に関する領域については、**全国平均を下回っている。**



- 物を水に溶かした時の重さや熱したときの蒸発について、実験結果から内容を改善し、記述することに課題がある。
- 観察をするための適切な方法を構想することに課題がある。

- 既習の内容や生活経験と関係づけて話し合うなど、自然の事物・現象を捉えるような活動の充実を図っていきます。
- 話し合いを通して観察方法等が妥当か見直す学習場面を設定していきます。

【算数】

本校の概要

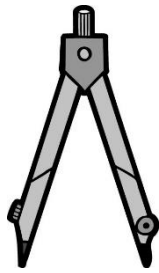
【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「量と測定」の領域については、**全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。**
- 「数と計算」「図形」「数量関係」の領域については、**全国平均を下回っている。**

主として「活用」に関する問題(B)

- 「数と計算」「数量関係」の領域については、**全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。**
- 「量と測定」「図形」の領域については、**全国平均を下回っている。**



今回の調査における課題

- 1にあたる大きさを求める問題場面で、数量の関係を理解し数直線に表すことに課題がある。
- 空間の中にあるものの位置を表現することに課題がある。
- 直径と円周の長さ関係について理解することに課題がある。
- 複数の観点で示された情報とグラフを関連付けて解釈し、表現することに課題がある。
- 図形の構成要素や性質を基に論理的に考察し、数学的に表現することに課題がある。

改善の方向

- 問題場面を式や数直線に表現し、その関係性を考える授業を大切にしていけます。
- 縦、横、高さの三つの要素がどのように表されるのか、図と関連付けて指導を図ります。
- 作業的・体験的な活動を通して、直径と円周の長さの関係について指導を行います。
- グラフの特徴を複数の観点で捉えて情報を読み取る指導や、グラフから読み取った情報が適切かどうかを検討したり、結果を考察したりする指導を行っていきます。
- 図形の構成要素や性質を基に、筋道を立てて考え、事柄が成り立つことを説明する指導を行っていきます。

【児童質問紙より】

「学ぶ力」の育成に関わって

「家で、授業の予習・復習をしている」「授業時間以外に読書をしている」児童の割合は、**全国平均を上回っています**が、「自分で計画を立てて勉強をしている」児童の割合は**全国平均を下回っています**。学習に対する前向きな姿勢が見られ、先生方の声掛けや授業改善、「まほうのかいわ」等の取組により、家庭学習の習慣が作られてきている様子がうかがえます。今後更に、1学期に配付した「みどりっ子 家庭学習の手引き」等を参考に、より自分に合った学習を計画的に進められるよう工夫していく必要があります。

「豊かな心」の育成に関わって

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童の割合が非常に高く、また、「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と答えた児童の割合が、**全国平均を上回っており**大変嬉しい傾向です。悪口や仲間外れなど、いじめを許さない気持ちの育ちや社会に対する前向きな姿勢や態度がうかがえます。



「健やかな身体」の育成に関わって

「毎日、同じぐらいの時間に起きている」児童の割合が**全国平均を下回っていて**、放課後は、家でテレビやDVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりして過ごしている児童の割合が高く**全国平均を上回っています**。今後は、健康三原則（運動・食事・休養のバランス）に対する意識を高め、遊びも学習も計画的に進められるよう工夫していく必要があります。

